

# 環境活動レポート

第19版

(対象期間：2023年4月～2024年3月)

令和6年10月11日

**株式会社かりゆし**

沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ

OKINAWA KARIYUSHI RESORT EXES ONNA

# 目 次

環境方針	1
行動指針	1
1 事業概要	2～4
2 環境目標とその実績	5
3 主要な環境活動計画の内容	6～7
4 主要な取組内容と評価、及び次年度の対策	8
5 代表者による評価と見直し	9
6 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	9

# 沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ 環境方針

沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ及び OKINAWA KARIYUSHI RESORT EXES ONNA は、地域性及び環境への関連を考慮し、環境関連法規制を遵守します。そして、以下の環境方針を定め全ての事業活動を通じて、その実現に取り組めます。

当社はホテル業として二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量の削減、総排水量の削減及び生ゴミのリサイクル等により、事業活動に伴う環境への負荷を削減する為、以下の事項に取り組めます。

- ① ホテルの事業活動において、地球環境保全に寄与できるように努めます。
- ② エネルギー、資源、水の投入、廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を認識し省資源、リサイクル、省エネルギーに努めます。
- ③ 環境保全に関する目的、目標を設定し、取組結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組めます。
- ④ 食品リサイクル法に基づき食品廃棄物の削減に努めます。

2005年12月1日制定

2020年4月1日改訂

沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ  
OKINAWA KARIYUSHI RESORT EXES ONNA  
常務取締役総支配人 椎本 泰隆

## 行動指針

### エコホテルスタッフの5箇条

- 一、ゴミはしっかり分別し、リサイクルできる物は確実に回収します。
- 一、廃棄物削減に努め、毎年宿泊客1人あたりの排出量を1%ずつ削減させます。
- 一、館内不要な照明はこまめに消します。
- 一、エアコンの無理な稼働は絶対にしません。
- 一、節水に細心の注意を払います。

### エコドライブ5箇条

- 一、無駄なアイドリングは絶対にしません。
- 一、急発進は絶対にしません。
- 一、急ブレーキを踏まないよう、常に安全な車間距離を保ちます。
- 一、エアコンは必要最小限に稼働させます。
- 一、不要な寄り道はせず、最短ルートを常に考えて運行します。

## 1 事業概要

### (1) 事業者名

株式会社 かりゆし  
代表取締役社長 玉城 智司

### (2) 所在地

〒904-0401 沖縄県国頭郡恩納村名嘉真 2591-1

### (3) 環境保全関係の連絡先

株式会社 かりゆし 事業本部 総務部  
TEL 098-967-8801 FAX 098-967-8803  
環境管理責任者 當眞 梓  
担当者・連絡先 山城 良太 金城 功

### (4) 事業内容

ホテル業（宿泊施設 料飲施設 宴会場 リゾートウェディング 大浴場  
その他施設）

### (5) EA21 認証・登録の対象範囲及び事業規模（2024年3月末日現在）

※沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ、OKINAWA KARIYUSHI  
RESORT EXES ONNA の最高責任者：常務取締役総支配人 椎本 泰隆

#### 1) 沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ

所在地 〒904-0401 沖縄県国頭郡恩納村名嘉真ヤーシ原 2591-1  
延床面積 35,753 m<sup>2</sup>  
従業員数 269 名  
客室数 515 室 収容人数 最大 1,500 人  
レストラン・ラウンジ 8 施設 宴会場 その他施設

#### 2) OKINAWA KARIYUSHI RESORT EXES ONNA

所在地 〒904-0401 沖縄県国頭郡恩納村字名嘉真 ヤーシ原 2592-40  
延床面積 15,187 m<sup>2</sup>  
従業員数 94 名  
客室数 90 室 収容人数 最大 348 名  
レストラン・ラウンジ その他施設

#### 3) ラグーンレジデンス恩納（社員寮）

所在地 〒904-0401 沖縄県国頭郡恩納村字名嘉真 2690 番地 2  
部屋数 144 室  
※ 1)、2)の従業員が居住

(6) その他の事業所及び所在地(EA21 認証・登録の対象範囲外)及び段階的認証の拡大スケジュール)

次の5つの事業所については今後認証・登録の段階的拡大を検討します。

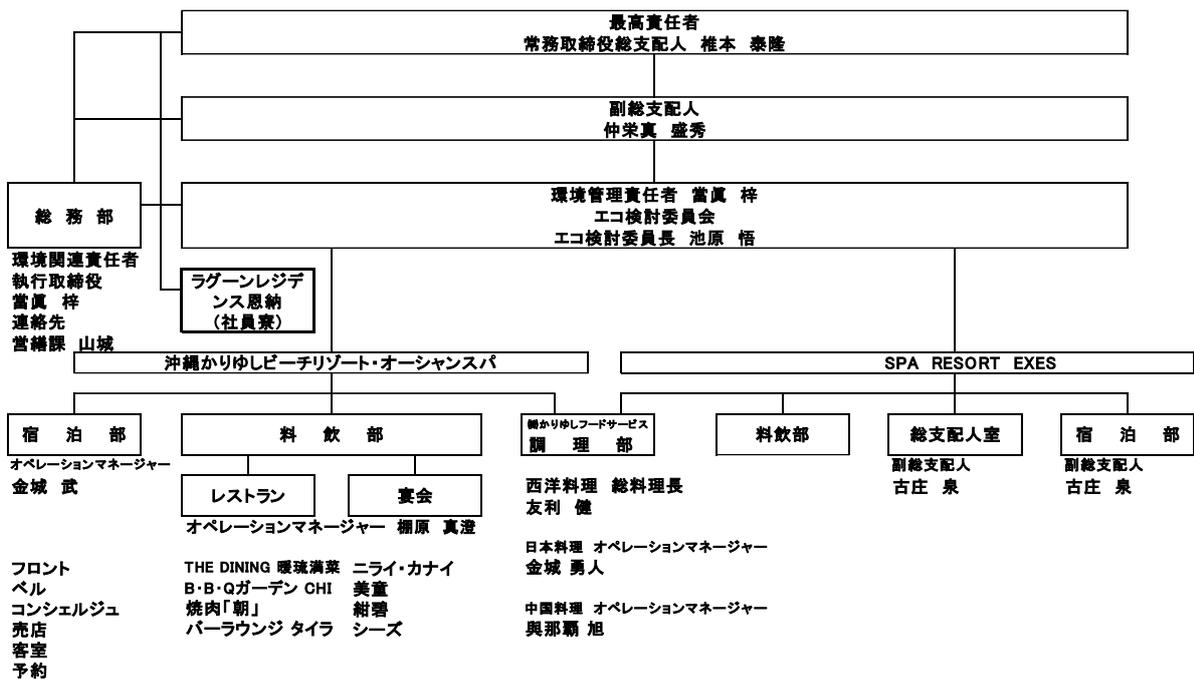
- ① OKINAWA KARIYUSHI RESORT EXES ISHIGAKI  
〒907-0243 沖縄県石垣市字宮良 923-1
- ② OKINAWA KARIYUSHI RESORT EXES NAHA  
〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎 1-11-5
- ③ OKINAWA KARIYUSHI LCH.RESORT on The Beach  
〒905-0026 沖縄県名護市喜瀬 1996
- ④ OKINAWA KARIYUSHI LCH.Izumizaki 県庁前  
〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎 1-11-8
- ⑤ OKINAWA KARIYUSHI LCH.2nd Izumizaki  
〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎 1-14-6

(7) EA21 認証・登録の対象活動

ホテル業(宿泊施設、料飲施設、宴会場、リゾートウェディング、大浴場  
その他施設)

(8)実施体制

沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ SPA RESORT EXES エコ検討委員会 組織図



役割分担表	
所 属	役割・責任・権限
最高責任者 (代表者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営方針の作成・見直し</li> <li>・ 環境管理責任者、EA21事務局員の任命</li> <li>・ 取組を実施するための資源(人員・設備等)の確保</li> <li>・ EA21全体の取組状況に関し評価、見直しの実施</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築</li> <li>・ 定期的な環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況の確認・評価</li> <li>・ 上記結果の代表者への報告</li> </ul>
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的に開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況の確認</li> </ul>
事務局(営繕課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EA21文書及び記録類、及び基礎データ類の作成・集計・管理を行う</li> <li>・ 審査に必要な手続きや対応などを行う</li> </ul>
各部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営の方針や目標、計画を従業員へ周知する</li> <li>・ 環境経営目標達成のため、自部門での環境活動を推進する</li> <li>・ 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する</li> <li>・ 自部門の教育・訓練を実施する</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する</li> <li>・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する</li> </ul>

## 2 環境目標とその実績

### (1) 環境目標

二酸化炭素排出量、一般廃棄物排出量、産業廃棄物排出量、水資源投入量について宿泊客1人あたりの年平均値を毎年対前年比1%ずつ低減します。

年度 目標		2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 目標	2023年度 実績	2024年度 目標
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /人/年	19,382	16,704	8,032	6,766	7,033	6,963
一般廃棄物排出量	kg/人/年	254	263	232	288	236	233
産業廃棄物排出量	kg/人/年	100.2	38.8	81.1	80.3	83.3	82.4
水資源投入量	m <sup>3</sup> /人/年	541	608	319	226	318	314

・二酸化炭素1人あたり年平均排出量 = 排出量 ÷ 延宿泊者数 × 365にて算出

・一般・産業廃棄物1人あたり年平均排出量 = 排出量 ÷ 延宿泊者数 × 365にて算出

・水資源1人あたり年平均投入量 = 投入量 ÷ 延宿泊者数 × 365にて算出

※電力排出係数：0.675kg-CO<sub>2</sub>/kWh（沖縄電力 令和4年度調整後排出係数）

### (2) 環境への負荷実績

#### (A) 二酸化炭素排出量

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	7,395,777	5,189,800	5,212,390	6,058,207	5,722,703
延宿泊者数	人(年)	381,091	97,734	113,615	275,286	296,970
1人あたり年平均排出量	kg-CO <sub>2</sub> /人/年	7,048	19,382	16,704	8,032	7,033

#### (B) 廃棄物排出量（産業廃棄物、食品廃棄物を除く）

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
廃棄物排出量	総量(トン/年)	313	68	82	175	192
延宿泊者数	人(年)	381,091	97,734	113,651	275,286	296,970
1人あたり年平均排出量	kg	299.8	254.2	263	231.9	235.9

#### (C) 水資源投入量

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
水資源投入量	m <sup>3</sup>	245,221	144,844	189,361	240,635	259,078
延宿泊者数	人(年)	381,091	97,734	113,651	275,286	296,970
1人あたり年平均投入量	m <sup>3</sup>	235	541	608	319	318

#### (D) 食品廃棄物排出量削減に関する目標と実績

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
食品リサイクル率目標	%	100	100	100	100	100
食品廃棄物排出量	kg	173,715	62,315	73,855	125,758	141,578
再生利用量	kg	173,715	62,315	73,855	125,758	141,578
食品リサイクル率	%	100	100	100	100	100
延宿泊者数	人(年)	381,091	97,734	113,651	275,286	296,970
1人あたり年平均投入量	kg	166	233	237	167	174

### 3 主要な環境活動計画の内容

#### ①二酸化炭素排出量（施設管理責任者）

- ・客室の電球を省エネ型に取り替える。
- ・エアコンを随時省エネ型に取り替えている。
- ・ボイラーを省エネ型に取り替えている。（A 重油から LNG へ変換）
- ・通路の照明を支障のない程度に間引きをする。
- ・エレベーターは夜間の運転台数を制限する。
- ・ボイラーは2台所有するうち夜間は1台運転を行っている。
- ・料飲施設等閉店時間は不要のエアコン、照明等は電源を切る。
- ・冷蔵庫等の温度管理を徹底している。
- ・チェックアウト後の客室の照明、エアコンを必ず消す。
- ・取引先に対して納品車及び、敷地内に乗り入れる観光バスにおけるアイドリングストップを奨励している。
- ・CO<sub>2</sub>削減に効果のあるコージェネレーションシステムを導入している。
- ・ホテル内の自動販売機は省エネ型を使用しています。
- ・社用車の取扱について、従業員にエコドライブを推進している。
- ・社用車をハイブリット車に変更した。



- ・コージェネレーション施設  
発電用のエネルギーとして、液化天然ガス(LNG)を使用しています。

#### ・液化天然ガス発電

ホテルで使用する電気の6割はこの自家発電機で作られます。燃料として液化天然ガスを使用しているので二酸化炭素排出削減にも大きな効果があります。また、発電によって発生した熱は熱交換器を通して、温水プール等に使用されます。



#### ②廃棄物排出量（エコ検討委員会）

- ・ごみの分別を徹底している。
- ・納品用持込容器を業者へ返却している。
- ・ビン、カン等はリサイクル業者に回収を委託している。
- ・ミスコピーは裏紙として再利用している。
- ・館内のトイレにジェットタオルを導入している。

### ③水資源投入量（節水への取組・施設管理責任者）

- ・自社の高度排水処理施設を利用し処理水を客室のトイレの洗浄水に使用している。
- ・洗面台、手洗器は止水栓を調節し、館内節水に努めている。



- ・高度排水処理施設  
沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパでは高度排水処理施設を導入し、客室のトイレの水として使用しています。

### ④食品廃棄物排出量

- ・料理の取り皿を小さくし、食べ残しを少なくする工夫をしている。
- ・調理の際に食材の歩留まりを高める工夫をしている。
- ・食品廃棄物は回収業者へ委託し、回収した廃棄物は肥料として再利用しています。

### ⑤自ら生産販売、提供する製品及びサービス

- ・自社農園にて、ホテル食材（無農薬栽培）の生産を行っている。また、2009年より地元農家から野菜を買い付ける等「地産地消」にも取り組んでいる。
- ・敷地内に森林浴の出来るウォーキングコースを設け自然との共生をテーマにしてお客様に開放している。



- ・専用農園「かりゆしファーム」  
かりゆしファームでは、環境に優しい無農薬栽培を行い、ホテルに新鮮な野菜を届けております。

### ⑥社会貢献活動(CSR)

- ・毎年4月、新入社員研修のプログラムとして、地元関連企業にも協賛をいただき恩納村真栄田岬からかりゆしビーチまで約25kmの東シナ海沿いを徒歩による空き缶拾いを開催している。
- ・2008年より、国際サンゴ礁年に賛同し、かりゆしプライベートビーチにおいてサンゴ植付け活動を展開している。
- ・県内の環境関連イベントに多数出展し、当社におけるエコアクション21取組に関するPR活動を展開している。
- ・当社が実施する新入社員研修等で環境保全の取組み内容の紹介やビーチ清掃を行っている。

#### 4 主要な取組内容と評価、及び次年度の対策

##### (1) 二酸化炭素排出量

###### ・排出量

2023年度は2022年度と比較すると宿泊人数はコロナの規制緩和に伴い、8%増加していますが、宿泊客1人当たりの排出量は13%減少しています。

###### ・車輛管理

社用車の利用に関しては普通乗用車の代替としてハイブリッドカーを導入しており、従業員にガソリンの消費を低減する為に、エアコンの設定温度を一定に保つよう指導しています。

エコドライブ推進員資格取得している従業員がおりますので、当該するスタッフによる教育の下、エコドライブの方法を周知・徹底させています。

###### ・電力の使用

不用な照明・エアコンによる電力の浪費を防止する為に、使用していない施設や明るい時間帯はこまめに消灯し、エアコンの電源はOFFにしています。

##### (2) 廃棄物排出量

###### ・総排出量

2023年度は2022年度と比較すると、宿泊客数増加により総排出量が増加しており、加えて宿泊客数1人当たりの排出量も少し増加しています。

###### ・廃棄物排出量削減に関する取組

廃棄物排出量削減に関しては各部署及び OKINAWA KARIYUSHI RESORT EXES ONNA に1人配置されるエコ検討委員を中心に日頃全従業員が取り組んでいます。定期的に「エコ検討委員会」を実施し、取組状況の確認や排出量の増減について討議を行いました。また、各セクションにエコ委員を1名選出し、各自責任を持ってホテル全体のエコ活動へ取り組んでいます。今後はエコ宿泊プラン等を導入し、さらなる排出量軽減に向けてホテルの中でもさらに重要視されるような活動ができる様、毎月テーマを決めて目標達成に向けて取り組んでいきます。

##### (3) 水資源投入量

2023年度は2022年度と比較すると総投入量が増加しています。

コロナの規制緩和に伴い宿泊客が大幅に増加していますが、一人当たりの投入量はわずかに少なくなっています。

##### (4) 食品廃棄物排出量

2023年度は2022年度に引き続き、総排出量が100トンを上回っています。

なお、食品廃棄物は全量を業者委託により肥料にリサイクルしています。

引続き全量リサイクルを行うと同時に、排出量を一定量に保つための取り組みを継続していきます。

## 5 代表者による評価と見直し

今年度は昨年と比べコロナの規制緩和や円安による外国人観光客の増加でホテルの宿泊客数もコロナ前に近い状況に戻りつつあります。宿泊客数は大幅に増加しておりますが、1人当たりの排出量を見ると2022年度と比べ二酸化炭素排出量は13%減少しておりますが、一般廃棄物排出量、産業廃棄物排出量、水資源投入量はほとんど変わっていません。お客様へエコ清掃の協力やアメニティステーションの設置、木製スプーンや紙ストローへの変更を行い日々の排出量を抑えることができた結果だと考えております。

経営的に厳しい状況はまだ続いておりますが、そのような中でも長年培ってきた経験と各従業員に浸透している“当たり前のエコ活動”により、これまでと同様に環境負荷削減の活動と環境改善の取り組みができたと評価しています。

今後も環境方針に基づき、地球温暖化防止、食品廃棄物の排出削減及びリサイクル、さらに昨今の脱プラスチックの取り組みによる循環型社会の構築に向けて、ホテルとして何が出来るか、SDGsを意識し企業の社会的責任として常に考え、積極的に活動を続けてまいります。2024年度に向けて環境方針、環境目標、環境活動計画、実施体制の変更はありません。

沖縄のホテル業界における環境保全のリーディングカンパニーとして、また、エコホテルとして注目されることへ誇りを持ち活動を継続してまいります。

## 6 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社にかかわる関連法規は以下の通りです。

	法規(略称)	対象設備	遵守事項	違反の有無
1	廃棄物処理法	全施設	保管・委託基準順守 マニフェスト保管に関する義務	なし
2	大気汚染防止法	自家発電施設、ボイラー	届出事項確認、排出基準順守	なし
3	水質汚濁防止法	排水処理施設	届出事項確認、水質測定義務 排出基準順守	なし
4	食品リサイクル法	厨房、従業員食堂	業者への回収委託、計量管理	なし
5	消防法	全施設	設備点検、消防検査 防災・防火訓練	なし
6	フロン排出抑制法	全施設	放出禁止(適正かつ確実な 回収・回収依頼、取引証明)	なし
7	省エネルギー法※	全施設	中長期計画の提出 定期報告 エネルギー管理者選任	なし
8	地球温暖化対策推進法	全施設	節水、節電、高効率空調の 導入、天然ガスへの変更	なし

※当施設は、2010年に第2種エネルギー管理指定工場に指定されました。

※2009年度より食品リサイクル法に基づく定期報告を行っています。

- (1) 当社に係る環境関連法規について2024年2月15日に遵守状況を確認した結果、遵守違反はありませんでした。また利害関係者や関係機関からの訴訟等もありませんでした。